

東日本大震災被災者の方々へ心よりお見舞い申し上げます

富士ロジテック(本社・静岡市、鈴木庸介社長)は、勝ち残り戦略を加速させる。九月一日、不動産・運輸の二事業部を分社化し、独立採算制を明確にした経営改革に着手。収益構造の改善を進めながら、不透明な経営環境の中での利益体質づくりの立ち向かう。ドラスチックな展開が物流業界で起きると予測しつつ、先手を打って基盤強化を推し進める鈴木社長に聞いた。

(谷 篤)

鈴木庸介 富士ロジテック社長に聞く企業の成長戦略

8月期決算は増収増益予想

— 社内の本格的な改革はすでに始まっている。

鈴木 企業としての根本姿勢は、常にチャレンジ精神で事業を伸ばしていくこと。各部門の改善は責任者に任せる。私の使命は全体を鳥瞰(ちようかん)しながら、最善の形で経営できる方策を練り上げていくこと。計画に掲

げた利益を確保しなければならぬ状況で、平成二十六年八月期は希望退職を募りリス

社も含めて売上高百八十五億円、経常利益五億二千万円の目標を立てている。

— 前期の業績見込みはどうか。

鈴木 前期は増収増益の見込み。厳しい事業環境下で現場の懸命な頑張りに感謝している。

— 新年度の計画は。

鈴木 分社化を実施する。二十七年八月期は分社した会

— 将来も見据えての決断

縦や業界再編が進むのではな

いか。当社も手をこまねいてい

不動産・運輸部門を分社し
— その第一歩に。

倉庫や物流の主要事業部門はそのままの体制で

鈴木 物流業界でドラスチックな変化がこの二年の間に起こり得る。事業者の経営破

鈴木 私らが当面、業務で担当。社員らの成長を期待したい。それぞれ約四十人の社員

鈴木 清水港など物流業に

鈴木 外資企業は特にそう

鈴木 輸配送・包装・荷

2事業部を分社化

再編時代でも勝ち残る

が当社から移籍する。倉庫に

事業に向かっている社員つ

体重は、二キ近く減らし、暑い夏も難なく乗り切った。万全な体調で熟考

記者席

半年ぶりの取材でお目

体調づくりへの思い

し行動する。新年度のスタートに当た

部門の踏ん張りが一層求め

鈴木 不動産の仲介で新たな

鈴木 時代に先を読みなが

(谷 篤)